

令和7年度 府中市立新町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 文章を書くときに、助詞や拗音・促音・長音などを正確に使う書くこと。 - 言葉のまとまりを意識して文章を読むこと。 - 文章の内容を正しく読み取って課題に対する答えをもつこと。 - 自分が見たこと、思ったことを、筋道立てて書いたり話したりすること。	- 表記のきまりを常掲し、習熟タイムや授業の始めに書く指導を取り入れ、定着を図る。【表現】 - 授業の中で、音読を毎日取り入れることで読むことに親しませ、言葉のまとまりや新しい言葉に触れさせる。【表現】 - 問いや答え、繰り返し出てくる言葉、接続語など、教科書の言葉に注目させ、文章の組み立て、作者の思いや作品の楽しさを発見する授業を展開する。【発見】 - 思いや考えを交流する学習場面の中で、板書やICT 機器を活用して表現をするときの観点やモデルを提示する。【対話・表現】	B	
算数	- 問題文から必要な情報を読み解き、立式すること。 - 既習の考え方をういて、新たな問題を解決しようとしたり、友達に自分の考えを話したりすること。 - 数量や図形に親しみ、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようとする。	- 問題文の意味や数の大小を、絵やブロックなどで確認し、聞かれていることは何かをはっきりさせてから問題に取り組ませる。【発見】 - 始めから教科書を見せず、課題解決をする時間を設ける。考え方の表現の仕方を指導し、絵、図、文章などで友達に説明できる力を付けさせる。【対話・表現】 - 具体物操作や図に表す活動を日常的に取り入れたり、日常生活の場面を加法や減法の式に表したりすることで、そのよさに気付かせる。【発見・表現】	B	
生活	- 具体的な体験や活動を通して、身近な自然の変化や面白さ、気付いたことをまとめ、グループや全体に発信していくこと。 - 自然と関わったり、季節を感じたりする経験から、新たな発見や気付きの質を高めること。	- 話し合いを通して、児童自らがやってみよう活動を取り入れ、児童主体の活動を実践する。 - 協同的な学びの中で、友達の考えや気付きに触れ、全体に広げるためにまとめ、発表をする機会を設定する。【発見・決定】 - 体験や活動の後に、気付いたことを絵や文章で表現する振り返りの時間を設定する。また、互いに伝え合う場を設定し、気付きの質を高められるようにする。【発見・表現】	B	
音楽	- 歌唱の活動で曲想を感じ取り、表現を工夫しながら歌うこと。 - リズム打ちや、鍵盤ハーモニカなどの演奏を通して、友達の音を聞き、合奏の楽しさを味わうこと。	- 互いの歌声や伴奏を聴く活動を通して、表現の工夫に気付かせる。【対話・表現】 - 教師や友達の模倣をさせるなど、楽しみながら一緒に音楽活動ができるよう教材選定や授業展開を工夫する。【対話・表現】	B	
図画工作	「こうしたい」という自分の作りたいイメージをもって創作すること。 - 友達の作品のいいところに気付くこと。	- 具体的な作品例を複数示すとともに、材料や画材と親しむ時間を十分確保し、自分なりの小さな発見ができるようにする。【発見・表現】 - 作品の鑑賞の仕方を示し、感じたことを表現する語彙を増やしてよいと思ったところを伝えられるようにさせる。【対話】	B	
体育	- 基本的な動きや体の使い方を身に付けること。 - 工夫したことを児童同士で伝え合いながら運動に取り組むこと。	- 簡単な運動遊びの中で、基本的な動きを繰り返し取り入れることで、技能の向上につなげる。【発見】 - それぞれの児童が工夫したことを共有する場を設け、児童同士で学び合うことができるようにする。【対話・表現】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立新町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・漢字を正しく書くこと。 ・自分の思いや考えを広げて、話したり文章で表現したりすること。 ・説明文の内容を正しく読み取って、課題に対する答えをもつこと。	・筆順、字形、意味を丁寧に指導し、毎週小テストを行うことで定着を図る【表現】 ・「ことばのたからばこ」等を活用して語彙を増やし話し合い活動を通して、様々な考え方に触れながら表現力を伸ばす【表現】 ・問いや答え、繰り返し出てくる言葉、接続語など、教科書の言葉に着目させ、表などを使って文章の組み立てを意識させる。【発見】	B	
算数	・算数の用語や単位を理解すること。 ・算数的活動において、答えの正解、不正解だけに注目しがちであること。また、その過程を考え説明すること。 ・既習事項を用いて、新たな問題を解決しようとして、友達に自分の考えを話したりすること。	・学習した内容を掲示して繰り返し指導を行い、定着を図る【表現】 ・授業の中で課題解決をする時間を設け、考え方の表現の仕方を指導し、絵、図、式、文章などで友達に説明できる力を付ける。【対話・表現】 ・授業の導入で既習事項の確認を行い、問題解決や対話的な活動で活用できるようにする。【発見・対話】	B	
生活	・具体的な体験や活動を通して、気付きの質を高めること。 ・自然と関わったり、季節を感じたりする経験が少ないこと。	・児童の発見や体験の機会を増やし、様々な視点を与えながら、話し合い活動を通して気付きの質を高める。【対話・表現】 ・観察活動や校外学習を設定し、その中での気付きを話し合いで共有させることで、自然と関わる機会を増やす。【発見】	B	
音楽	・歌唱の活動で曲想を感じ取り、表現を工夫しながら歌うこと。 ・タンブリンや、鍵盤ハーモニカなどの演奏を通して、友達の音を聞き、合奏の楽しさを味わうこと。	・互いの歌声を聴き合う活動の中で、表現の工夫に気付かせ、話合わせることで、楽しく歌えるようにする。【対話・表現】 ・タンブリンや鍵盤ハーモニカ等での演奏ができるよう、児童同士の教え合いを通して、どのように演奏していきたいかという思いや意図を共有して演奏する。【対話・表現】	B	
図画工作	・自分の表したいイメージをふくらませて、色や形を選び、工夫して表すこと。 ・自分や友達の作品に興味をもって鑑賞し、自分の作品作りに生かすこと。	・表したいイメージをもてるように、参考例を充実させ、制作時は児童の多様な表現を積極的に賞賛することで自分の表現への自信を付けさせる。【表現】 ・制作した作品についてグループで相互鑑賞を行う時間を設け、作品の工夫や魅力を伝えたり聞いたりさせることで思考力・判断力・表現力を高め、自分の作品作りに生かせるようにする。【対話・表現】	B	
体育	・鉄棒、うんていなどの固定遊具で、体を支え、力強く運動すること。 ・走る、投げるなどの基本的な動きを身に付けること。 ・工夫したことを児童同士で伝え合いながら楽しく運動に取り組むこと。	・力試しの運動遊びを取り入れ、体の使い方、動かし方のモデルを示しながら繰り返し鍛えていく。【発見】 ・基礎となる運動をウォーミングアップで取り入れ、技能の向上につなげる。【発見】 ・児童の習熟度に合わせて複数の場を設定し、自ら選択させることで、運動の楽しさを味わえるようにする。また、お互いに動きを見合ったり、アドバイスをし合ったりする時間を作ることで、児童同士の学び合い・助け合いを充実させる。【決定・対話】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立新町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 自分の思いや考えを文章に表したり、伝えたりすること。 - 既習の漢字や言葉を日常の様々な場面で活用すること。 - 文章を読み取り、設問に正しく答えること。	- 日記・スピーチ等の常時活動を行う。さらに、文章の書き方・話し方のモデルや目的を提示する。交流活動では、よい表現の仕方を認め合い、模倣し、個々のスキルアップができるようにする。【対話・決定】 - 漢字学習においては、毎日繰り返し練習を行わせる。文章を書く際に、既習の漢字や言葉を積極的に使わせるようにする。【発見】 - 音読に取り組み、一字一句しっかり読むようにさせる。文章の意味を理解するために、数回繰り返し読んで読むように指導する。【対話・表現】	B	
算数	- 数を分割したり、まとまりとして見たりすること。 - 時間や長さなどの単位換算を正しく行うこと。	- ブロックを提示し囲んだり、簡単な図を書いたり、具体物を通した操作を充実させる。【表現】 - 基本的な事項（1分＝60秒など）を繰り返し指導し、教室内に掲示する。日常生活の中で活用する場面を具体的にイメージさせる。【発見】	B	
理科	- 観察する対象物を丁寧に観察し、予想や仮説、結論などに結び付けること。 - 観察・実験したことから気づいたことや、考えたことなどを自分で表現・交流すること。	- 目的や見通しをもって丁寧に観察することを指導し、これまでの記録と比較しながら差異点や共通点に気付かせる。その内容を基に、自分の考えなどをまとめさせる。【発見・表現】 - 既習の内容や生活体験を通して、関連・比較しながら差異点や共通点に気付かせる。それを基に考えを交流し、自分の考えや実験の結果をノートに記録させる。【発見・対話】	B	
社会	- 資料から必要な情報を読み取る力を伸ばしていくこと。 - 問題に対する自分の考えをもち表現し、友達に伝えること。	- 資料を見る際の視点を示し、読み取る力を身に付けさせる【発見】 - 考えたことを友達と伝え合って互いの考えを深め、グループでよりよい考えにまとめていく授業の場を設定する。【対話】	B	
音楽	- 自分の考えを積極的に発信し、交流を通して考えを広げたり深めたりすること。 - 楽しく演奏するだけでなく、自分の考えをもって演奏すること。	- 友達の演奏を聴き、ペア、または数名のグループで意見交換して表現の工夫をさせる。【対話】 - どのように演奏したいかという思いをもって演奏させる。【表現】	B	
図画工作	- 児童の「こうしたい」というイメージを表現できるように工夫すること。 - 制作に用いる用具や材料を用途に沿って使っていないこと。	- 児童の能力を引き出す声掛けや参考例など事前準備を工夫し、相互鑑賞を通して自身の思考を広げ、表現力を高める。【対話・表現】 - 材料や用具の効果的な活用方法の例示や実演、工程に合わせた用具の使用を提示するなどをして定着させる。【発見】	B	
体育	- 運動の特性に合わせた、基本的な技能を身に付けること。 - 自分の体の動かし方を知り、課題を発見すること。	- 課題に応じた練習方法を一人一人が選べるような場を設定する。【決定】 - 友達の動きを見て気付いたことを伝え合うための時間を設定する。【対話】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立新町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 登場人物の心情や場面の变化、筆者の意図などを正しく読み取ること。 - 自分の思いや考えを、根拠や具体例を示しながら、分かりやすく話したり書いたりすること。 - 友達の意見を受けて、自分の思いや考えを深めたり広げたりすること。	- 発問を工夫し、文章の表面的な読み取りだけでなく、その背景にある「なぜ」を考えさせる。【発見】 - 考えに至った理由や道筋を表現するための話型や文型を提示する。【表現】 - ペアやグループ、全体での話し合いにおいて、共通点や相違点を発見させる。【発見・対話】	B	
算数	- 大きい数や小数において、十進位取り記数法の考え方を正しく理解すること。 - 問題（角度や辺）が、どの部分のことを指しているのかとらえること。 - 筆算に出てくる数字の意味を理解すること。	- 位取り表を用いて数を表記したり、10倍や1/10した数を繰り返し取り上げたりする。【表現】 - 基準となる部分（辺や頂点）を全体で共通認識させる。色分けを適切に行ったり、アニメーションを活用したりして提示する。【発見・表現】 - 問題を図や言葉の式などで表し、筆算の内容と関連付けて説明させる。【発見・表現】	B	
理科	- 理科の見方・考え方を自覚的に働かせながら問題を解決すること。 - 学習した内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想すること。 - 観察や実験の結果から得られた複数の情報を関係付けて考え、結論を導き出すこと。	- 実物に触れたり、実際に体感したりする活動と、そこで得た気づきを交流する活動を充実させる。【発見・対話】 - 単元の導入で、既習内容や生活経験を想起させる活動や体験を充実させる。【発見・表現】 - ねらいやポイントを明らかにしながら話し合いをさせるとともに、表や図を用いて情報を整理させる。【対話・決定】	B	
社会	- 資料から課題解決に必要な情報を的確に読み取ること。 - 社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて判断したことを表現すること。	- 写真、表、グラフ等の資料を活用し、気づきや読み取ったことを整理する活動を増やす。【発見】 - 学習内容と自身や友達の生活経験を比較し、多面的な分析を行い、社会的事象の見方・考え方を広げさせる。【対話・表現】	A	
音楽	- 自分の考えを積極的に発信し、交流を通して考えを広げたり深めたりすること。 - 楽しく演奏するだけでなく、自分の考えをもって演奏すること。	- 自分たちの演奏を聴き、ペア、または数名のグループで意見交換したことを基に、表現の工夫をさせる。【対話】 - どのように演奏したいかという思いをもって演奏させる。【表現】	B	
図画工作	- 制作過程で自分の意志・考えをもって取り組み、最後まで集中して作品を仕上げること。【表現】 - 鑑賞を親しむ姿勢が身に付いていないことや自身の作品についての思いや表現を伝えること。【表現・対話】	- 制作中の作品をグループで相互鑑賞する時間を設け、作品の工夫や魅力を伝えたり聞いたりさせることで思考を深め、自分なりの表現を追求できるようにする。【対話・表現】 - 作品だけでなく、身近な事象等を見て伝え合う機会を設け、鑑賞することや自身の思いや表現を伝えることの楽しさに気付かせるよう工夫する。【表現・対話】	B	
体育	- 自身の課題を設定すること。 - めあてを達成するために、必要な運動を選択、判断すること。	- ワークシートを活用し、自身の運動の困り感を伝え合う活動から出た意見を基に、めあてや場の設定を行う。【対話・発見】 - 技能の習得に合った複数の場を設定するとともに、めあての達成に必要な練習方法を例示し、学習の見通しをもたせる。【決定】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立新町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 互いの考えを比較しながら聞き、自らの考えをさらに広げたり深めたりすること。 - 相手意識をもち、適切な言葉で分かりやすく伝えること。 - 説明文の要旨をとらえまとめること。	- 学習形態を工夫しながら対話的な学習場面を多く設定していく。【対話】 1分間スピーチや発表などの経験を積ませる。聞き合う中で良いところなどを見付けさせ、話すスキルを高めていく。【表現・対話】 - 全体の構成から筆者の考えや繰り返し出てくる言葉に着目させ、まとめさせる。【表現】	B	
算数	- 小数倍など2量の関係をとらえること。 - 立式の理由や考え方を発表すること。	- 数直線図や表を活用して、どのような関係になっているか、確認させる。もとにする大きさはいくつであるか必ず確認し、多様な表現に触れさせる。【発見・表現】 - 自分の思考を式や図、言葉、簡単な絵などで表現させ、ペアやグループなどで話し合いを行い、意見や表し方の交流をさせる。【対話・表現】	A	
理科	- 学習したことを生かしながら予想とその理由を考え、表現すること。 - 問題解決の見通しをもち、目的意識をもって実験を行うこと。	- 児童同士で意見交流する場を意図的に設定し、課題に関連する意見を出させ、既習との関連性に気付かせる。【対話・発見】 - 課題発見から解決に向けた実験計画を考えさせ、実験の目的を明確にする。【決定】	B	
社会	- 適切な情報を集め整理し、まとめたり、表現したりする活動で個人差が大きいこと。 - 資料の多面的な読み取りが難しいこと。	- 情報の扱い方の経験を積ませると共に、まとめた作品を見合い、まとめ方や表現の仕方の良いところを見付けさせることでスキルを高めていく。【表現・対話】 - 資料の見方を丁寧に指導していく。小グループでの活動を多く取り入れ、教え合いを通して、読み取る力を身に付けさせる。【対話】	B	
音楽	- 自分の考えを積極的に発信し、交流を通して考えを広げたり深めたりすること。 - 自分の考えを持って演奏すること。	- 自分たちの演奏を録音したものを聴き、グループごとに意見交換して表現の工夫をさせる。【対話】 - どのように演奏したいかという思いや意図を共有して演奏させる。【表現】	B	
図画工作	- 制作や鑑賞活動の中で、自分の考えを表現すること。 - 題材の主となる部分とは何かを考え、それについての思考を深めること。	- 制作を始める前に自分の考えや感じたことを伝え合う時間を設け、表現したいことを明確化させる。【発見・対話】 - 材料や用具の効果的な活用方法を例示・実演や工程に合わせた用具の声掛けなどを行い、思考を深められるようにする。【決定・表現】	B	
家庭	- 学習したことを実生活でも主体的に生かそうとすること。 - 裁縫に関して、「波縫い、玉止め、玉結び」など基本的な技能を習得すること。	- 学習したことを家庭でも実践できるように、具体的な場面を話し合わせ、実践意欲につなげる。【表現】 - 動画を活用して視覚的に分かりやすい指導を展開するとともに、技能の習得に差が見られる児童に対して個別指導を行う。【発見・表現】	B	
体育	- 運動における自己の課題を見付けること。 - 課題解決に向け、相互に動きを観察し教え合うこと。	- 学習カードを用いて技能習得のポイントを示し、自己の課題を明確にさせる。また、技能の習熟度に合わせて見るべきポイントを絞った場を設定し、グループ学習を行う。【発見】 - ICTを活用し、動きを確認しながら学び合う活動を充実させる。【対話・決定】	B	
外国語	- 学習したことを使ってコミュニケーションをとったり、発言したりすることに不安を感じ、消極的になってしまうこと。 - 構文の定着が難しいこと。	- 授業の導入では、繰り返し練習などを取り入れ発音の仕方などに自信がもてるようにしていく。【表現】 - 視覚的な教材・教具の工夫やゲーム性のある活動を通して読み方や使い方が定着するようにする。【表現・対話】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立新町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 自分の考えを積極的に発信し、交流を通して考えを広げたり深めたりすること。 - 文章全体の構成を捉え、要旨をまとめること。	- 必要感や目的意識をもった話し合い活動を展開できるように話題設定を行う。【対話】 - 話し合いの内容を可視化し、自分や友達の考えを比較・分類したり関係付けたりすることができる授業を行う。【対話・表現】 - 事実と感想・意見を分類し、段落ごとの文章構成図に表したりすることで、書かれている事柄とその重要性を理解できるようにする。【表現】	B	
算数	- 問題の場面を読み解き、立式をすること。 - 答えが同じだから、同じ考え方だと認識すること。	- 問題文の情報を整理するための方法（イメージ図、数直線、4マス関係表、面積図、ことばの式など）を指導し、活用する場面を設ける。【決定】 - 複数の解法を積極的に取り上げるとともに、解決過程の比較を行い言語化させる。【対話・表現】	B	
理科	- 器具の名称や使い方、科学的用語などの知識を身に付けること。 - 予想や考察の根拠を、既習の内容や生活体験と結び付けて考え、伝えること。 - 体験した科学的現象について、学びの価値を実感すること。	- 器具や用語を実際に扱う機会を増やすと共に、写真や動画なども活用し定着を図る。【発見】 - 予想や考察を既習事項や生活体験と結び付けて対話・協働的に考えさせる。【対話】 - 観察・実験方法などを選択させ、振り返らせ、価値付けし、児童に学びの価値を気付かせる。【発見】	B	
社会	- 話し合い活動や協働的な学びを通して、学習課題、計画、方法を考えること。 - 社会的現象の見方・考え方を身に付けこと。	- よりよい学習計画、学習方法を考えさせ、情報整理やまとめを対話的・協働的に行わせる。【対話】 - 思考を促す発問や学習展開の工夫を行い、複数の資料を関連付けたり、多様な視点から考察したりする力を育てる。【発見】	A	
音楽	- 自分の考えを積極的に発信し、交流を通して考えを広げたり深めたりすること。 - 自分の考えをもって演奏すること。	- 自分たちの演奏を録音したものを聴き、学級全体で意見交換して表現の工夫をさせる。【対話】 - どのように演奏したいかという思いや意図をもって演奏させる。【表現】	B	
図画工作	- 対象についてじっくり観察し、粘り強く表現すること。 - 用具の選択・使用を工夫しながら、より深く表現を追求すること。	- グループでの対話を通して、ものを観察する楽しさに気づかせ、表現・思考力を高めさせる。【対話・表現】 - 材料や用具の効果的な活用方法を重点的に指導するとともに、工程に合わせた場を設定し、それぞれの段階に合わせて児童がスムーズに制作を行えるようにする。【決定・表現】	B	
家庭	- よりよい家庭生活への関心をもつこと。 - 手縫いやミシンかけ、調理に関する基礎的な知識・技能を習得すること。	- 現在の家庭生活での課題を話し合わせて課題設定することを通し、実生活との関連が図れる授業を展開する。【対話・発見】 - 調理実習や裁縫では、児童が計画を立て、用具や機器を工夫しながら使用させ、実践の技能を身に付けさせる。【決定・表現】	B	
体育	- 技能習得のための解決方法を見出すこと。 - 自分の課題に合わせた練習方法を選び、技能を身に付けること。	- ワークシート等を活用し、単元のめあてや動きのポイントをイラストと関連させて明確にする。【発見・決定】 - 練習の場を児童の意見を取り入れながら用意することで、児童が自分の課題に合わせた練習をし、基本的な技能の習得を目指す。【対話・決定】	A	
外国語	- 会話などの場面で、学習した単語や、文法を活用すること。 - 自分の力に合った表現方法や発表内容を決めること。	- 学習する内容を繰り返し音読させたり、学習したことを活用する場面を用意したりすることで、基礎的な表現を定着させる。【表現・対話】 - 身近な題材と関連させて、児童が発表に対して意欲的に取り組めるようにする。【発見・決定】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。